化学品の名称: Avida DNA Reagent Kit with 97-192 Index Primer Pairs for ILM, 96 Reactions

部品番号: G9418B

本製品は以下のもので構成されています。

キットコンポーネント、試薬

ボックス/モジュール部品番号	ボックス/モジュール名	キットコンポーネント部品番号	キットコンポーネント名	ユニット数	GHS
5280-0056	Avida Index Primer Pairs 97-192 for ILM	5274-0080	Avida Index Primer Pairs 97-192 for ILM	96	該当せず
5282-0140	Avida DNA Reagent Box 1, 96 Reactions	5271-0121	End Prep Buffer	1	はい
		5271-0122	End Prep Enzyme	1	はい
		5271-0123	Ligation Buffer	1	該当せず
		5271-0124	Ligation Enzyme	1	はい
		5271-0126	Hyb Blocker	1	該当せず
		5271-0127	Hyb Buffer	1	はい
		5271-0128	Hyb Enhancer	1	はい
		5271-0129	2X Amplification Mastermix	1	該当せず
		5271-0139	Adapter for ILM	1	該当せず
5282-0142	Avida DNA and Duo Reagent Box 2, 96 reactions	5271-0130	Library Wash Buffer	2	該当せず
		5271-0131	Hyb Wash Buffer 1	2	該当せず
		5271-0132	Hyb Wash Buffer 2	2	該当せず
		5271-0133	Resuspension Buffer	1	該当せず
		5271-0134	Nuclease-Free Water	1	該当せず
5282-0144	Avida Beads Box, 96 Reactions	5271-0135	Library Binding Beads	1	該当せず
		5271-0136	Capture Beads	1	該当せず

*成形品 SDS(整備されている場合)は www.agilent.com で入手できます。検索時には成形品の製品コードを使用することを推奨します。*SDS は限定された国に関してのみ入手できます。

キットの輸送情報:

危険物分類: : G9418B

UN	IMDG	IATA
規定なし。	規定なし。	規定なし。

目次

キットコンポーネント名 **ページ**

Nuclease-Free Water..... 3
Library Wash Buffer..... 9
Hyb Wash Buffer 1..... 16
Hyb Wash Buffer 2..... 24
Resuspension Buffer..... 30
End Prep Buffer..... 36
End Prep Enzyme..... 43
Ligation Buffer..... 50
Ligation Enzyme..... 56
Adapter for ILM..... 63
Hyb Blocker..... 69
Hyb Buffer..... 75
Hyb Enhancer..... 83
2X Amplification Mastermix..... 91
Library Binding Beads..... 98
Capture Beads..... 105
Avida Index Primer Pairs 97-192 for ILM..... 111

個々のキットコンポーネントの SDS は、このカバーシートに従っています。

安全データシート

Agilent Technologies

Nuclease-Free Water

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Nuclease-Free Water

部品番号 : 5271-0134

供給者/ 製造者 : 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社

住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号(受付時間) : CHEMTREC®: 0800-300-5842

化学製品の推奨される用途 : 分析試薬。
研究専用です。
5.76 ml (96 反応)

使用上の制限 : 診断用ではありません。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

区分に該当しない。

GHS ラベル要素

注意喚起語 : 注意喚起語なし。

危険有害性情報 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

注意書き

安全対策 : 該当しない

応急措置 : 該当しない

保管 : 該当しない

廃棄 : 該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別 : 化学物質

化学名又は一般名	含有量(%)	識別子	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
水	100	CAS: 7732-18-5	第八改正日本薬局方	11-(4)-1005

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害な熱分解生成物 : 特にデータは無い。

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界

なし。

生物学的曝露指数

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

保護具

8. ばく露防止及び保護措置

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 液体

色 : 無色。

臭い : 無臭。

融点／凝固点 : 0℃ (32℉)

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 100℃ (212℉)

可燃性 : 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。

引火点 : 情報なし。

自然発火点 : 該当しない

分解温度 : 情報なし。

pH : 7

粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
水	可溶性

水混和性 : はい。

n-オクタノール／水分配係数 : -1.38

蒸気圧 : 2.3 kPa (17.5 mm Hg) [室温]
12.3 kPa (92.258 mm Hg) [50° C (122° F)]

密度及び : 1 g/cm³ [20℃ (68℉)]

又は相対密度 : 1

相対ガス密度 : 0.62 [空気 = 1]

粒子特性

中央粒径値 : 該当しない

その他のデータ

臭いのしきい値 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。
次の物質と反応性あるいは危険配合性: 還元性物質、金属、酸 および アルカリ。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の推定

N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

結論/要約[製品] : 情報なし。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器系

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性

結論/要約[製品] : 情報なし。

発がん性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露)

情報なし。

11. 有害性情報

特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）

情報なし。

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

残留性・分解性

結論/要約[製品] : 情報なし。

製品 / 成分の名称	水中における半減期	光分解	生分解性
水	–	–	容易

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	$LogP_{ow}$	BCF	可能性
水	−1.38	–	低

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送**: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

非該当

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

該当しない

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則 第594条の2 第1項）

非該当

化学物質審査規制法

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

インベントリリスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 当物質は記載されているかあるいは免除されている。
日本インベントリー(ISHL): 当物質は記載されているかあるいは免除されている。

米国 : この材料はアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2025/02/19
前作成日 : 未確認
バージョン : 1

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。(″Marpol″ = 海洋汚染)
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

参照 : 情報なし。

◤ **前バージョンから変更された情報を指摘する。**

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシート

Library Wash Buffer

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Library Wash Buffer

部品番号 : 5271-0130

供給者/ 製造者 : 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社

住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号(受付時間) : CHEMTREC®: 0800-300-5842

化学製品の推奨される用途 : 分析試薬。
研究専用です。
21.12 ml (96 反応)

使用上の制限 : 診断用ではありません。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

区分に該当しない。

GHS ラベル要素

注意喚起語 : 注意喚起語なし。

危険有害性情報 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

注意書き

安全対策 : 該当しない

応急措置 : 該当しない

保管 : 該当しない

廃棄 : 該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有量(%)	識別子	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
塩化ナトリウム	≤10	CAS: 7647-14-5	1-236	(1)-236

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害な熱分解生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
二酸化炭素
一酸化炭素
ハロゲン化合物
金属酸化物

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界

なし。

生物学的曝露指数

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

8. ばく露防止及び保護措置

保護具

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 液体

色 : 情報なし。

臭い : 情報なし。

融点／凝固点 : 情報なし。

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 情報なし。

可燃性 : 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。

引火点 : 情報なし。

自然発火点 : 情報なし。

分解温度 : 情報なし。

pH : 情報なし。

粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
水	可溶性

水混和性 : はい。

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

蒸気圧 :

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
水	17.5	2.3	-	92.258	12.3	-

又は相対密度 : 情報なし。

相対ガス密度 : 情報なし。

粒子特性

中央粒径値 : 該当しない

その他のデータ

臭いのしきい値 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	
塩化ナトリウム	ラット - 経口 - LD50 ラット - オス - 吸入した場合 - LC50 微塵および噴霧	3000 mg/kg >42 mg/l [1 時間]

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん／ミスト) (mg/l)
Library Wash Buffer 塩化ナトリウム	37635.4 3000	N/A N/A	N/A N/A	N/A N/A	N/A N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

製品 / 成分の名称	結果	
塩化ナトリウム	ウサギ - 皮膚 - 軽度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間

結論/要約[製品] : 情報なし。

化学名又は一般名	結論/要約
塩化ナトリウム	軽い皮膚への刺激を引き起こす。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

製品 / 成分の名称	結果	
塩化ナトリウム	ウサギ - 眼 - 中程度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間
	ウサギ - 眼 - 中程度の刺激	-

結論/要約[製品] : 情報なし。

化学名又は一般名	結論/要約
塩化ナトリウム	眼の炎症を引き起こすことがある。

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 情報なし。

11. 有害性情報

呼吸器系
結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性
結論/要約[製品] : 情報なし。

発がん性
結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性
結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）
情報なし。

特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）
情報なし。

誤えん有害性
情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果		
塩化ナトリウム	急性 - LC50 - 淡水	1000 mg/l [96 時間]	魚類 - Striped bass - Morone saxatilis - 幼虫
	慢性 - NOEC - 淡水	0.314 g/l [21 日]	ミジンコ類 - Water flea - Daphnia pulex
	慢性 - NOEC - 淡水	100 mg/l [8 週]	魚類 - Eastern mosquitofish - Gambusia holbrooki - 成体
	慢性 - NOEC - 淡水	6 g/l [96 時間]	水生植物 - Duckweed - Lemna minor
	急性 - EC50 - 淡水	402.6 mg/l [48 時間]	ミジンコ類 - Water flea - Daphnia magna
	急性 - EC50 - 淡水	28.85 mg/dm^3 [72 時間]	藻類 - Green algae - Selenastrum capricornutum

結論/要約[製品] : 情報なし。

残留性・分解性
結論/要約[製品] : 情報なし。

生体蓄積性
情報なし。

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない
他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
第四類危険物	以下を含む物質: 第四石油類	III	火気厳禁	6000 L

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

該当しない

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則 第594条の2 第1項）

非該当

化学物質審査規制法

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

インベントリリスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
日本インベントリー(ISHL): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2025/02/19
前作成日 : 未確認
バージョン : 1

16. その他の情報

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。(″Marpol″ = 海洋汚染)
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

参照 : 情報なし。

◤ **前バージョンから変更された情報を指摘する。**

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシート

Agilent Technologies

Hyb Wash Buffer 1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Hyb Wash Buffer 1

部品番号 : 5271-0131

供給者/ 製造者 : 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社

住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号(受付時間) : CHEMTREC®: 0800-300-5842

化学製品の推奨される用途 : 分析試薬。
研究専用です。
31.680 ml (96 反応)

使用上の制限 : 診断用ではありません。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

区分に該当しない。

GHS ラベル要素

注意喚起語 : 注意喚起語なし。

危険有害性情報 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

注意書き

安全対策 : 該当しない

応急措置 : 該当しない

保管 : 該当しない

廃棄 : 該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有量(%)	識別子	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
塩化ナトリウム	≤10	CAS: 7647-14-5	1-236	(1)-236
硫酸ドデシルナトリウム	≤10	CAS: 151-21-3	2-1679	2-1679

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害な熱分解生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
ハロゲン化合物
金属酸化物

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界

なし。

生物学的曝露指数

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

保護具

8. ばく露防止及び保護措置

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 液体

色 : 情報なし。

臭い : 情報なし。

融点／凝固点 : 情報なし。

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 情報なし。

可燃性 : 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。

引火点 : 情報なし。

自然発火点 : 情報なし。

分解温度 : 情報なし。

pH : 7.2 から 7.6

粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
水	可溶性

水混和性 : はい。

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

蒸気圧 :

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
水	17.5	2.3	–	92.258	12.3	–

又は相対密度 : 情報なし。

相対ガス密度 : 情報なし。

粒子特性

中央粒径値 : 該当しない

その他のデータ

臭いのしきい値 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	
塩化ナトリウム	ラット - 経口 - LD50	3000 mg/kg
	ラット - オス - 吸入した場合 - LC50 微塵および噴霧	>42 mg/l [1 時間]
硫酸ドデシルナトリウム	ラット - 経口 - LD50	1288 mg/kg

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん／ミスト) (mg/l)
Hyb Wash Buffer 1	171428.6	N/A	N/A	N/A	N/A
塩化ナトリウム	3000	N/A	N/A	N/A	N/A
硫酸ドデシルナトリウム	1288	50	N/A	N/A	N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

製品 / 成分の名称	結果	
塩化ナトリウム	ウサギ - 皮膚 - 軽度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間
硫酸ドデシルナトリウム	モルモット - 皮膚 - 軽度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間
	マウス - 皮膚 - 中程度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間
	ウサギ - 皮膚 - 軽度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間
	ウサギ - 皮膚 - 中程度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間
	ウサギ - 皮膚 - 中程度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間
	モルモット - 皮膚 - 軽度の刺激	処理/暴露の継続時間: 336 時間
	モルモット - 皮膚 - 軽度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間
	モルモット - 皮膚 - 強度の刺激	処理/暴露の継続時間: 48 時間
	モルモット - 皮膚 - 強度の刺激	処理/暴露の継続時間: 72 時間
	ヒト - 皮膚 - 軽度の刺激	処理/暴露の継続時間: 48 時間
	ヒト - 皮膚 - 強度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間
	ウサギ - 皮膚 - 中程度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間
	ウサギ - 皮膚 - 強度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間

11. 有害性情報

結論/要約[製品] : 情報なし。

化学名又は一般名	結論/要約
塩化ナトリウム	軽い皮膚への刺激を引き起こす。
硫酸ドデシルナトリウム	皮膚を刺激する。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

製品 / 成分の名称	結果	
塩化ナトリウム	ウサギ - 眼 - 中程度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間
	ウサギ - 眼 - 中程度の刺激	-
硫酸ドデシルナトリウム	ウサギ - 眼 - 軽度の刺激	-
	ウサギ - 眼 - 中程度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間
	ウサギ - 眼 - 中程度の刺激	-
	ウサギ - 眼 - 強度の刺激	処理/暴露の継続時間: 1 時間

結論/要約[製品] : 情報なし。

化学名又は一般名	結論/要約
塩化ナトリウム	眼の炎症を引き起こすことがある。
硫酸ドデシルナトリウム	眼を刺激する。

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器系

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性

結論/要約[製品] : 情報なし。

発がん性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）

製品 / 成分の名称	結果
硫酸ドデシルナトリウム	特定標的臓器毒性(単回ばく露)（中枢神経系）- 区分1

特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）

製品 / 成分の名称	結果
硫酸ドデシルナトリウム	特定標的臓器毒性（反復ばく露）（肝臓）- 区分2

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果		
塩化ナトリウム	急性 - LC50 - 淡水	1000 mg/l [96 時間]	魚類 - Striped bass - Morone saxatilis - 幼虫
	慢性 - NOEC - 淡水	0.314 g/l [21 日]	ミジンコ類 - Water flea - Daphnia pulex
	慢性 - NOEC - 淡水	100 mg/l [8 週]	魚類 - Eastern mosquitofish - Gambusia holbrooki - 成体
	慢性 - NOEC - 淡水	6 g/l [96 時間]	水生植物 - Duckweed - Lemna minor
	急性 - EC50 - 淡水	402.6 mg/l [48 時間]	ミジンコ類 - Water flea - Daphnia magna
	急性 - EC50 - 淡水	28.85 mg/dm^3 [72 時間]	藻類 - Green algae - Selenastrum capricornutum
硫酸ドデシルナトリウム	急性 - LC50 - 淡水	590 µg/l [96 時間]	魚類 - Carp, hawk fish - Cirrhinus mrigala - 幼虫
	急性 - LC50 - 海水	900 µg/l [48 時間]	甲殻類 - Brine shrimp - Artemia salina - 成体
	急性 - EC50 - 海水	1200 µg/l [96 時間]	藻類 - Diatom - Skeletonema costatum
	慢性 - NOEC - 海水	1.25 mg/l [96 時間]	藻類 - Sea Lettuce - Ulva fasciata - ゾエア
	慢性 - NOEC - 淡水	1 mg/l [21 日]	甲殻類 - Water flea - Pseudosida ramosa - 新生児
	慢性 - NOEC - 淡水	0.8 mg/l [28 日]	魚類 - Eastern mosquitofish - Gambusia holbrooki

結論/要約[製品] : 情報なし。

残留性・分解性

製品 / 成分の名称	結果		
硫酸ドデシルナトリウム	OECD [Ready Biodegradability - CO2 Evolution Test]	95% [28 日] - 容易	好気性 - 20 mg/l

結論/要約[製品] : 情報なし。

製品 / 成分の名称	水中における半減期	光分解	生分解性
硫酸ドデシルナトリウム	-	-	容易

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	$LogP_{ow}$	BCF	可能性
硫酸ドデシルナトリウム	-2.03	-	低

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

非該当

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

該当しない

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則 第594条の2 第1項）

非該当

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
ナトリウム＝アルキル（C8～18）＝スルファート	優先評価化学物質	214
2，2’，2’’，2’’’ー（エタンー1，2ージイルジニトリロ）四酢酸のナトリウム塩	優先評価化学物質	268

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

インベントリ リスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
日本インベントリー(ISHL): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2025/02/19
前作成日 : 未確認
バージョン : 1

16. その他の情報

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。(″Marpol″ = 海洋汚染)
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

参照 : 情報なし。

◤ **前バージョンから変更された情報を指摘する。**

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシート

Agilent Technologies

Hyb Wash Buffer 2

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	Hyb Wash Buffer 2
部品番号	:	5271-0132
供給者/ 製造者	:	会社名 アジレント・テクノロジー株式会社 住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1 電話番号 +81-42-660-3111
緊急連絡電話番号(受付時間)	:	CHEMTREC®: 0800-300-5842
化学製品の推奨される用途	:	分析試薬。 研究専用です。 18.24 ml (96 反応)
使用上の制限	:	診断用ではありません。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

区分に該当しない。

GHS ラベル要素

注意喚起語	:	注意喚起語なし。
危険有害性情報	:	重大な作用や危険有害性は知られていない。
注意書き		
安全対策	:	該当しない
応急措置	:	該当しない
保管	:	該当しない
廃棄	:	該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別	:	混合物

4. 応急措置

吸入した場合	:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	:	多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	:	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	:	水で口を洗浄する。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	:	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
医師に対する特別な注意事項	:	症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害な熱分解生成物 : 特にデータは無い。

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界

なし。

生物学的曝露指数

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

保護具

8. ばく露防止及び保護措置

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 液体

色 : 情報なし。

臭い : 情報なし。

融点／凝固点 : 0℃ (32℉)

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 100℃ (212℉)

可燃性 : 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。

引火点 : 情報なし。

自然発火点 : 情報なし。

分解温度 : 情報なし。

pH : 7.2 から 7.6

粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
水	可溶性

水混和性 : はい。

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

蒸気圧 :

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
水	17.5	2.3	–	92.258	12.3	–

又は相対密度 : 情報なし。

相対ガス密度 : 情報なし。

粒子特性

中央粒径値 : 該当しない

その他のデータ

臭いのしきい値 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の推定

N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

結論/要約[製品] : 情報なし。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器系

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性

結論/要約[製品] : 情報なし。

発がん性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）

情報なし。

11. 有害性情報

特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）

情報なし。

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

残留性・分解性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生体蓄積性

情報なし。

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
指定可燃物	以下を含む物質：可燃性液体類	非該当	非該当	2 m^3

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

該当しない

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則 第594条の2 第1項）

非該当

15. 適用法令

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
2，2'，2''，2'''ー(エタンー1，2ージイルジニトリロ)四酢酸のナトリウム塩	優先評価化学物質	268

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

インベントリ リスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
日本インベントリー(ISHL): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2025/02/19

前作成日 : 未確認

バージョン : 1

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。("Marpol" = 海洋汚染)
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

参照 : 情報なし。

◤ **前バージョンから変更された情報を指摘する。**

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシート

Agilent Technologies

Resuspension Buffer

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	Resuspension Buffer
部品番号	:	5271-0133
供給者/ 製造者	:	会社名 アジレント・テクノロジー株式会社 住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1 電話番号 +81-42-660-3111
緊急連絡電話番号(受付時間)	:	CHEMTREC®: 0800-300-5842
化学製品の推奨される用途	:	分析試薬。 研究専用です。 2.364 ml (96 反応)
使用上の制限	:	診断用ではありません。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

区分に該当しない。

GHS ラベル要素

注意喚起語	:	注意喚起語なし。
危険有害性情報	:	重大な作用や危険有害性は知られていない。
注意書き		
安全対策	:	該当しない
応急措置	:	該当しない
保管	:	該当しない
廃棄	:	該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別	:	混合物

4. 応急措置

吸入した場合	:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	:	多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	:	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	:	水で口を洗浄する。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	:	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
医師に対する特別な注意事項	:	症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害な熱分解生成物 : 特にデータは無い。

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界

なし。

生物学的曝露指数

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

保護具

8. ばく露防止及び保護措置

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 液体

色 : 情報なし。

臭い : 情報なし。

融点／凝固点 : 0℃ (32℉)

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 100℃ (212℉)

可燃性 : 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。

引火点 : 情報なし。

自然発火点 : 情報なし。

分解温度 : 情報なし。

pH : 8

粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
水	可溶性

水混和性 : はい。

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

蒸気圧 :

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
水	17.5	2.3	-	92.258	12.3	-

又は相対密度 : 情報なし。

相対ガス密度 : 情報なし。

粒子特性

中央粒径値 : 該当しない

その他のデータ

臭いのしきい値 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の推定

N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

結論/要約[製品] : 情報なし。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器系

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性

結論/要約[製品] : 情報なし。

発がん性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）

情報なし。

11. 有害性情報

特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）

情報なし。

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

残留性・分解性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生体蓄積性

情報なし。

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送**: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

非該当

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

該当しない

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則 第594条の2 第1項）

非該当

15. 適用法令

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
2，2'，2''，2'''ー(エタンー1，2ージイルジニトリロ)四酢酸のナトリウム塩	優先評価化学物質	268

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

インベントリリスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
日本インベントリー(ISHL): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2025/02/19
前作成日 : 未確認
バージョン : 1

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。(″Marpol″ = 海洋汚染)
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

参照 : 情報なし。

◤ **前バージョンから変更された情報を指摘する。**

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシート

Agilent Technologies

End Prep Buffer

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : End Prep Buffer

部品番号 : 5271-0121

供給者/ 製造者 : 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社

住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号(受付時間) : CHEMTREC®: 0800-300-5842

化学製品の推奨される用途 : 分析試薬。
研究専用です。
0.877 ml (96 反応)

使用上の制限 : 診断用ではありません。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

H412 水生環境有害性 長期(慢性) - 区分3

GHS ラベル要素

注意喚起語 : 注意喚起語なし。

危険有害性情報 : H412 - 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策 : P273 - 環境への放出を避けること。

応急措置 : 該当しない

保管 : 該当しない

廃棄 : P501 - 内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有量(%)	識別子	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
塩化マグネシウム	≤10	CAS: 7786-30-3	1-233	(1)-233

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。 暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

医師に対する特別な注意事項 : 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。 暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。 本製品は水生生物に対して有害であり、長期にわたり持続する影響を有する。 本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。

有害な熱分解生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
二酸化炭素
一酸化炭素
窒素酸化物
ハロゲン化合物
金属酸化物

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。 水質汚染物質である。 大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。 摂取してはならない。 眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。 蒸気や噴霧の吸入を避ける。 環境への放出を避けること。 使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。 容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。 容器を再利用してはならない。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界

なし。

生物学的曝露指数

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

保護具

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。 手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。 あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。 いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 液体

色 : 情報なし。

臭い : 情報なし。

融点／凝固点 : 情報なし。

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 情報なし。

可燃性 : 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。

引火点 : 情報なし。

自然発火点 : 情報なし。

分解温度 : 情報なし。

pH : 8

粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
水	可溶性

水混和性 : はい。

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

蒸気圧 :

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
水	17.5	2.3	–	92.258	12.3	–

9. 物理的及び化学的性質

又は相対密度 : 情報なし。

相対ガス密度 : 情報なし。

粒子特性

中央粒径値 : 該当しない

その他のデータ

臭いのしきい値 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	
塩化マグネシウム	ラット - 経口 - LD50 ラット - オス、メス - 経皮 - LD50	2800 mg/kg >2000 mg/kg

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん／ミスト) (mg/l)
End Prep Buffer 塩化マグネシウム	229323.3 2800	204752.9 2500	N/A N/A	N/A N/A	N/A N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

結論/要約[製品] : 情報なし。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 皮膚感作を起こすことがある。

呼吸器系

11. 有害性情報

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性

結論/要約[製品] : 情報なし。

発がん性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）

情報なし。

特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）

情報なし。

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果		
塩化マグネシウム	急性 - NOEC - 淡水	100 mg/l [72 時間]	藻類 - Desmodesmus subspicatus
	急性 - LC50 - 淡水	32 mg/l [48 時間]	ミジンコ類 - Water flea - Daphnia hyalina - 成体
	急性 - LC50 - 淡水	2120 mg/l [96 時間]	魚類 - Fathead minnow - Pimephales promelas
	急性 - IC50 - 淡水	6.8 mg/l [96 時間]	水生植物 - Lesser Duckweed - Lemna aequinoctialis
	慢性 - NOEC - 淡水	0.1 mg/l [35 日]	魚類 - common carp - Cyprinus carpio

結論/要約[製品] : 情報なし。

残留性・分解性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生体蓄積性

情報なし。

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送**: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
指定可燃物	以下を含む物質: 可燃性液体類	非該当	非該当	2 m^3

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

該当しない

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則 第594条の2 第1項）

非該当

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
(アンヒドロ(又はジアンヒドロ)グルシトールとドデカン酸のモノエステル)とα－ヒドロ－ω－ヒドロキシポリ(オキシエチレン)のモノ(又はポリ)エーテル	優先評価化学物質	222

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

インベントリリスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 未確定。
日本インベントリー(ISHL): 未確定。

米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2025/02/19

前作成日 : 未確認

バージョン : 1

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。(″Marpol″ = 海洋汚染)
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
水生環境有害性　長期(慢性) - 区分3	算出方法

参照 : 情報なし。

◤ **前バージョンから変更された情報を指摘する。**

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシート

Agilent Technologies

End Prep Enzyme

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : End Prep Enzyme

部品番号 : 5271-0122

供給者/ 製造者 : 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社

住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号(受付時間) : CHEMTREC®: 0800-300-5842

化学製品の推奨される用途 : 分析試薬。
研究専用です。
0.351 ml (96 反応)

使用上の制限 : 診断用ではありません。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

H320 眼刺激性 - 区分2B

GHS ラベル要素

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : H320 - 眼刺激

注意書き

安全対策 : P264 - 取扱い後はよく洗うこと。

応急措置 : P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313 - 眼の刺激が続く場合: 医師の診察又は手当てを受けること。

保管 : 該当しない

廃棄 : 該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有量(%)	識別子	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
グリセリン	≥50 - ≤60	CAS: 56-81-5	2-242	(2)-242

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。 衣類は、再着用の前に洗濯する。 靴は再使用前に十分に洗浄する。

眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 炎症がおさまらない場合、医師の診断を受ける。

4. 応急措置

飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。 入歯をしている場合ははずす。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。 健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。 意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

予想される急性健康影響

眼に入った場合 : 眼刺激

過剰にばく露した場合の徴候症状

眼に入った場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
刺激
流涙
充血

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害な熱分解生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
二酸化炭素
一酸化炭素

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 蒸気や噴霧の吸入を避ける。 十分な換気を行う。 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。 摂取してはならない。 眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。 蒸気や噴霧の吸入を避ける。 使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。 容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。 容器を再利用してはならない。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界

なし。

生物学的曝露指数

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

保護具

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。 手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。 あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。 いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 耐化学物質飛沫よけゴーグル。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 液体

色 : 情報なし。

臭い : 情報なし。

融点／凝固点 : 情報なし。

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 情報なし。

可燃性 : 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。

引火点 :

9. 物理的及び化学的性質

化学名又は一般名	密閉式 ℃	密閉式 ℉	密閉式 方法	開放式 ℃	開放式 ℉	開放式 方法
グリセリン	–	–	–	177	350.6	–

自然発火点 :

化学名又は一般名	℃	℉	方法
グリセリン	370	698	–

分解温度 : 情報なし。

pH : 7.5

粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
水	可溶性

水混和性 : はい。

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

蒸気圧 :

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧 mm Hg	20°Cの蒸気圧 kPa	20°Cの蒸気圧 方法	50°Cの蒸気圧 mm Hg	50°Cの蒸気圧 kPa	50°Cの蒸気圧 方法
水	17.5	2.3	–	92.258	12.3	–
グリセリン	0.000075	0.00001	–	0.0025	0.00033	–

又は相対密度 : 情報なし。

相対ガス密度 : 情報なし。

粒子特性

中央粒径値 : 該当しない

その他のデータ

臭いのしきい値 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	
グリセリン	ラット - 経口 - LD50	12600 mg/kg

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん／ミスト) (mg/l)
グリセリン	12600	N/A	N/A	N/A	N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

製品 / 成分の名称	結果	
グリセリン	ウサギ - 皮膚 - 軽度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間

結論/要約[製品] : 情報なし。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

製品 / 成分の名称	結果	
グリセリン	ウサギ - 眼 - 軽度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器系

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性

結論/要約[製品] : 情報なし。

発がん性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露)

情報なし。

特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露)

情報なし。

誤えん有害性

11. 有害性情報

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果		
グリセリン	急性 - LC50 - 淡水	54000 mg/l [96 時間]	魚類 - マス - Oncorhynchus mykiss

結論/要約[製品] : 情報なし。

残留性・分解性

製品 / 成分の名称	結果		
グリセリン	レディ生分解性 - クローズドボトルテスト	93% [30 日]	-

結論/要約[製品] : 情報なし。

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	$LogP_{ow}$	BCF	可能性
グリセリン	-1.76	-	低

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送**: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
第四類危険物	以下を含む物質: 第三石油類 (水溶性)	III	火気厳禁	4000 L

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

該当しない

15. 適用法令

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則 第594条の2 第1項）

非該当

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
2，2'，2''，2'''ー（エタンー1，2ージイルジニトリロ）四酢酸のナトリウム塩（アンヒドロ（又はジアンヒドロ）グルシトールとドデカン酸のモノエステル）とαーヒドローωーヒドロキシポリ（オキシエチレン）のモノ（又はポリ）エーテル	優先評価化学物質 優先評価化学物質	268 222

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

インベントリリスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 未確定。
日本インベントリー(ISHL): 未確定。

米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2025/02/19

前作成日 : 未確認

バージョン : 1

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。（"Marpol" = 海洋汚染）
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
眼刺激性 - 区分2B	算出方法

参照 : 情報なし。

◤ **前バージョンから変更された情報を指摘する。**

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシート

Agilent Technologies

Ligation Buffer

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	Ligation Buffer
部品番号	:	5271-0123
供給者/ 製造者	:	会社名 アジレント・テクノロジー株式会社 住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1 電話番号 +81-42-660-3111
緊急連絡電話番号(受付時間)	:	CHEMTREC®: 0800-300-5842
化学製品の推奨される用途	:	分析試薬。 研究専用です。 2.960 ml (96 反応)
使用上の制限	:	情報なし。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

区分に該当しない。

GHS ラベル要素

注意喚起語	:	注意喚起語なし。
危険有害性情報	:	重大な作用や危険有害性は知られていない。
注意書き		
安全対策	:	該当しない
応急措置	:	該当しない
保管	:	該当しない
廃棄	:	該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別	:	混合物

4. 応急措置

吸入した場合	:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。 暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。
皮膚に付着した場合	:	多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	:	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	:	水で口を洗浄する。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	:	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
医師に対する特別な注意事項	:	火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。 暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害な熱分解生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
二酸化炭素
一酸化炭素
窒素酸化物
ハロゲン化合物

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界

なし。

生物学的曝露指数

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

8. ばく露防止及び保護措置

保護具

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 液体

色 : 情報なし。

臭い : 情報なし。

融点／凝固点 : 情報なし。

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 情報なし。

可燃性 : 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。

引火点 : 情報なし。

自然発火点 : 情報なし。

分解温度 : 情報なし。

pH : 8

粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
水	可溶性

水混和性 : はい。

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

蒸気圧 :

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
水	17.5	2.3	-	92.258	12.3	-

又は相対密度 : 情報なし。

相対ガス密度 : 情報なし。

粒子特性

中央粒径値 : 該当しない

その他のデータ

臭いのしきい値 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の推定

N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

結論/要約[製品] : 情報なし。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器系

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性

結論/要約[製品] : 情報なし。

発がん性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）

情報なし。

11. 有害性情報

特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）

情報なし。

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

残留性・分解性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生体蓄積性

情報なし。

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
第四類危険物	以下を含む物質: 第四石油類	III	火気厳禁	6000 L

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

該当しない

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則 第594条の2 第1項）

非該当

15. 適用法令

化学物質審査規制法

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

インベントリ リスト

日本 : 日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質) : 未確定。
日本インベントリー(ISHL) : 未確定。

米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2025/02/19

前作成日 : 未確認

バージョン : 1

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。(″Marpol″ = 海洋汚染)
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

参照 : 情報なし。

◤ 前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシート

Agilent Technologies

Ligation Enzyme

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Ligation Enzyme

部品番号 : 5271-0124

供給者/ 製造者 : 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社

住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号(受付時間) : CHEMTREC®: 0800-300-5842

化学製品の推奨される用途 : 分析試薬。
研究専用です。
0.694 ml (96 反応)

使用上の制限 : 診断用ではありません。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

H320 眼刺激性 - 区分2B

GHS ラベル要素

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : H320 - 眼刺激

注意書き

安全対策 : P264 - 取扱い後はよく洗うこと。

応急措置 : P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313 - 眼の刺激が続く場合: 医師の診察又は手当てを受けること。

保管 : 該当しない

廃棄 : 該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有量(%)	識別子	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
グリセリン	≥50 - ≤60	CAS: 56-81-5	2-242	(2)-242

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。 衣類は、再着用の前に洗濯する。 靴は再使用前に十分に洗浄する。

眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 炎症がおさまらない場合、医師の診断を受ける。

4. 応急措置

飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。 入歯をしている場合ははずす。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。 健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。 意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

予想される急性健康影響

眼に入った場合 : 眼刺激

過剰にばく露した場合の徴候症状

眼に入った場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
刺激
流涙
充血

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害な熱分解生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
二酸化炭素
一酸化炭素

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 蒸気や噴霧の吸入を避ける。 十分な換気を行う。 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。 摂取してはならない。 眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。 蒸気や噴霧の吸入を避ける。 使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。 容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。 容器を再利用してはならない。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界

なし。

生物学的曝露指数

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

保護具

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。 手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。 あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。 いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 耐化学物質飛沫よけゴーグル。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 液体

色 : 情報なし。

臭い : 情報なし。

融点／凝固点 : 情報なし。

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 情報なし。

可燃性 : 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。

引火点 :

9. 物理的及び化学的性質

化学名又は一般名	密閉式 ℃	密閉式 ℉	密閉式 方法	開放式 ℃	開放式 ℉	開放式 方法
グリセリン	–	–	–	177	350.6	–

自然発火点 :

化学名又は一般名	℃	℉	方法
グリセリン	370	698	–

分解温度 : 情報なし。

pH : 7.5

粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
水	可溶性

水混和性 : はい。

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

蒸気圧 :

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧 mm Hg	20°Cの蒸気圧 kPa	20°Cの蒸気圧 方法	50°Cの蒸気圧 mm Hg	50°Cの蒸気圧 kPa	50°Cの蒸気圧 方法
水	17.5	2.3	–	92.258	12.3	–
グリセリン	0.000075	0.00001	–	0.0025	0.00033	–

又は相対密度 : 情報なし。

相対ガス密度 : 情報なし。

粒子特性

中央粒径値 : 該当しない

その他のデータ

臭いのしきい値 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	
グリセリン	ラット - 経口 - LD50	12600 mg/kg

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん／ミスト) (mg/l)
グリセリン	12600	N/A	N/A	N/A	N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

製品 / 成分の名称	結果	
グリセリン	ウサギ - 皮膚 - 軽度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間

結論/要約[製品] : 情報なし。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

製品 / 成分の名称	結果	
グリセリン	ウサギ - 眼 - 軽度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器系

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性

結論/要約[製品] : 情報なし。

発がん性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露)

情報なし。

特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露)

情報なし。

誤えん有害性

11. 有害性情報

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果		
グリセリン	急性 - LC50 - 淡水	54000 mg/l [96 時間]	魚類 - マス - Oncorhynchus mykiss

結論/要約[製品] : 情報なし。

残留性・分解性

製品 / 成分の名称	結果		
グリセリン	レディ生分解性 - クローズドボトルテスト	93% [30 日]	-

結論/要約[製品] : 情報なし。

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	$LogP_{ow}$	BCF	可能性
グリセリン	-1.76	-	低

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送**: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
第四類危険物	以下を含む物質: 第三石油類 (水溶性)	III	火気厳禁	4000 L

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

該当しない

15. 適用法令

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則 第594条の2 第1項）

非該当

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
2，2'，2''，2'''ー（エタンー1，2ージイルジニトリロ）四酢酸のナトリウム塩	優先評価化学物質	268

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

インベントリ リスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 未確定。
日本インベントリー(ISHL): 未確定。

米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2025/02/19

前作成日 : 未確認

バージョン : 1

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。（"Marpol" = 海洋汚染）
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
眼刺激性 - 区分2B	算出方法

参照 : 情報なし。

◤ **前バージョンから変更された情報を指摘する。**

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシート

Adapter for ILM

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	Adapter for ILM
部品番号	:	5271-0139
供給者/ 製造者	:	会社名 アジレント・テクノロジー株式会社 住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1 電話番号 +81-42-660-3111
緊急連絡電話番号(受付時間)	:	CHEMTREC®: 0800-300-5842
化学製品の推奨される用途	:	分析試薬。 研究専用です。 0.588 ml (96 反応)
使用上の制限	:	診断用ではありません。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

区分に該当しない。

GHS ラベル要素

注意喚起語	:	注意喚起語なし。
危険有害性情報	:	重大な作用や危険有害性は知られていない。
注意書き		
安全対策	:	該当しない
応急措置	:	該当しない
保管	:	該当しない
廃棄	:	該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別	:	混合物

4. 応急措置

吸入した場合	:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	:	多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	:	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	:	水で口を洗浄する。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	:	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
医師に対する特別な注意事項	:	症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害な熱分解生成物 : 特にデータは無い。

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界

なし。

生物学的曝露指数

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

保護具

8. ばく露防止及び保護措置

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 液体

色 : 情報なし。

臭い : 情報なし。

融点／凝固点 : 0℃ (32℉)

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 100℃ (212℉)

可燃性 : 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。

引火点 : 情報なし。

自然発火点 : 情報なし。

分解温度 : 情報なし。

pH : 8

粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
水	可溶性

水混和性 : はい。

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

蒸気圧 :

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
水	17.5	2.3	-	92.258	12.3	-

又は相対密度 : 情報なし。

相対ガス密度 : 情報なし。

粒子特性

中央粒径値 : 該当しない

その他のデータ

臭いのしきい値 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の推定

N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

結論/要約[製品] : 情報なし。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 皮膚感作を起こすことがある。

呼吸器系

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性

結論/要約[製品] : 情報なし。

発がん性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）

情報なし。

11. 有害性情報

特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）

情報なし。

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

残留性・分解性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生体蓄積性

情報なし。

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

非該当

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

該当しない

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則 第594条の2 第1項）

非該当

15. 適用法令

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
2，2'，2''，2'''ー(エタンー1，2ージイルジニトリロ)四酢酸のナトリウム塩	優先評価化学物質	268

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

インベントリリスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 未確定。
日本インベントリー(ISHL): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2025/02/19

前作成日 : 未確認

バージョン : 1

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。(″Marpol″ = 海洋汚染)
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

参照 : 情報なし。

◤ **前バージョンから変更された情報を指摘する。**

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシート

Agilent Technologies

Hyb Blocker

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	Hyb Blocker
部品番号	:	5271-0126
供給者/ 製造者	:	会社名 アジレント・テクノロジー株式会社 住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1 電話番号 +81-42-660-3111
緊急連絡電話番号(受付時間)	:	CHEMTREC®: 0800-300-5842
化学製品の推奨される用途	:	分析試薬。 研究専用です。 0.349 ml (96 反応)
使用上の制限	:	診断用ではありません。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

区分に該当しない。

GHS ラベル要素

注意喚起語	:	注意喚起語なし。
危険有害性情報	:	重大な作用や危険有害性は知られていない。
注意書き		
安全対策	:	該当しない
応急措置	:	該当しない
保管	:	該当しない
廃棄	:	該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別	:	混合物

4. 応急措置

吸入した場合	:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	:	多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	:	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	:	水で口を洗浄する。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	:	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
医師に対する特別な注意事項	:	症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害な熱分解生成物 : 特にデータは無い。

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界

なし。

生物学的曝露指数

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

保護具

8. ばく露防止及び保護措置

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 液体

色 : 情報なし。

臭い : 情報なし。

融点／凝固点 : 0℃ (32℉)

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 100℃ (212℉)

可燃性 : 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。

引火点 : 情報なし。

自然発火点 : 情報なし。

分解温度 : 情報なし。

pH : 8

粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
水	可溶性

水混和性 : はい。

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

蒸気圧 :

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
水	17.5	2.3	–	92.258	12.3	–

又は相対密度 : 情報なし。

相対ガス密度 : 情報なし。

粒子特性

中央粒径値 : 該当しない

その他のデータ

臭いのしきい値 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の推定

N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

結論/要約[製品] : 情報なし。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器系

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性

結論/要約[製品] : 情報なし。

発がん性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）

情報なし。

11. 有害性情報

特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）

情報なし。

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

残留性・分解性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生体蓄積性

情報なし。

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送**: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

非該当

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

該当しない

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則 第594条の2 第1項）

非該当

15. 適用法令

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
2，2'，2''，2'''ー(エタンー1，2ージイルジニトリロ)四酢酸のナトリウム塩	優先評価化学物質	268

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

インベントリリスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 未確定。
日本インベントリー(ISHL): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2025/02/19

前作成日 : 未確認

バージョン : 1

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。(″Marpol″ = 海洋汚染)
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

参照 : 情報なし。

◤ **前バージョンから変更された情報を指摘する。**

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシート

Agilent Technologies

Hyb Buffer

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Hyb Buffer

部品番号 : 5271-0127

供給者/ 製造者 : 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社

住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号(受付時間) : CHEMTREC®: 0800-300-5842

化学製品の推奨される用途 : 分析試薬。
研究専用です。
5.524 ml (96 反応)

使用上の制限 : 診断用ではありません。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

H302	急性毒性 (経口) - 区分4
H315	皮膚刺激性 - 区分2
H370	特定標的臓器毒性(単回ばく露) - 区分1
H412	水生環境有害性 長期(慢性) - 区分3

急性毒性(経口)が未知である成分からなる混合物中の濃度割合: 1 - 10%

水生環境有害性が未知である成分からなる混合物中の濃度割合:3.4 %

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H302 - 飲み込むと有害
H315 - 皮膚刺激
H370 - 臓器の障害 (中枢神経系)
H412 - 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策 : P280 - 保護手袋を着用すること。
P273 - 環境への放出を避けること。
P260 - 蒸気を吸入しないこと。
P270 - この製品を使用するときに, 飲食又は喫煙をしないこと。
P264 - 取扱い後はよく洗うこと。

応急措置 : P308 + P311 - ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
P301 + P312, P330 - 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。 口をすすぐこと。
P302 + P352 - 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
P332 + P313 - 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察又は手当てを受けること。
P362 + P364 - 汚染された衣類を脱ぎ, 再使用する場合には洗濯をすること。

保管 : P405 - 施錠して保管すること。

廃棄 : P501 - 内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有量(%)	識別子	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
ﾃﾄﾗﾒﾁﾙｱﾝﾓﾆｳﾑ=ｸﾛﾘﾄﾞ	≥10 - ≤20	CAS: 75-57-0	2-186	(2)-186
塩化ナトリウム	≤10	CAS: 7647-14-5	1-236	(1)-236
デキストラン硫酸ナトリウム	≤10	CAS: 9011-18-1	8-561	(8)-561

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 医師の診断を受ける。 必要に応じて医師に連絡する。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。 暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 医師の診断を受ける。 必要に応じて医師に連絡する。 衣類は、再着用の前に洗濯する。 靴は再使用前に十分に洗浄する。

眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 医師の診断を受ける。 必要に応じて医師に連絡する。

飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。 入歯をしている場合ははずす。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。 医師の診断を受ける。 必要に応じて医師に連絡する。 意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

予想される急性健康影響

吸入した場合 : 吸入すると、単回ばく露で臓器に障害を引き起こす。

皮膚に付着した場合 : 皮膚に接触すると、単回ばく露で臓器に障害を引き起こす。 皮膚刺激

飲み込んだ場合 : 飲み込むと有害 飲み込むと、単回ばく露で臓器に障害を引き起こす。

過剰にばく露した場合の徴候症状

皮膚に付着した場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
刺激
充血

眼に入った場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
痛み及び刺激
流涙
充血

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。

医師に対する特別な注意事項 : 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。 暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。 本製品は水生生物に対して有害であり、長期にわたり持続する影響を有する。 本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。

5. 火災時の措置

有害な熱分解生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
二酸化炭素
一酸化炭素
窒素酸化物
硫黄酸化物類
燐酸化物
ハロゲン化合物
金属酸化物

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 蒸気や噴霧の吸入を避ける。 十分な換気を行う。 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。 水質汚染物質である。 大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。 眼、皮膚および衣類に触れないようにする。 蒸気やミストを呼吸しない。 摂取してはならない。 環境への放出を避けること。 当物質の通常の取り扱い中に呼吸器官への有害危険性が存在する場合は、必ず適切な換気装置を使用するか、あるいは適切な呼吸用保護具を着用する。 使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。 容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。 容器を再利用してはならない。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 施錠して保管すること。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、ガス、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。

ばく露限界

なし。

生物学的曝露指数

8. ばく露防止及び保護措置

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

保護具

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。 手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。 あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。 いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 耐化学物質飛沫よけゴーグル。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 液体

色 : 情報なし。

臭い : 情報なし。

融点／凝固点 : 情報なし。

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 情報なし。

可燃性 : 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。

引火点 : 情報なし。

自然発火点 : 情報なし。

分解温度 : 情報なし。

pH : 7.5

粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
水	可溶性

水混和性 : はい。

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

蒸気圧 :

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
水	17.5	2.3	–	92.258	12.3	–
テトラメチルアンモニウム=クロリド	0.000000001	0.00000000013	EU A.4	–	–	–

又は相対密度 : 情報なし。

相対ガス密度 : 情報なし。

粒子特性

中央粒径値 : 該当しない

9. 物理的及び化学的性質

その他のデータ

臭いのしきい値 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	
ﾃﾄﾗﾒﾁﾙｱﾝﾓﾆｳﾑ=ｸﾛﾘﾄﾞ	ウサギ - オス、メス - 経皮 - LD50	200 から 500 mg/kg
	ラット - 経口 - LD50	50 mg/kg
塩化ナトリウム	ラット - 経口 - LD50	3000 mg/kg
	ラット - オス - 吸入した場合 - LC50 微塵および噴霧	>42 mg/l [1 時間]
デキストラン硫酸ナトリウム	ラット - 経口 - LD50	20600 mg/kg

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん／ミスト) (mg/l)
Hyb Buffer	450.2	2737.2	N/A	N/A	N/A
ﾃﾄﾗﾒﾁﾙｱﾝﾓﾆｳﾑ=ｸﾛﾘﾄﾞ	50	300	N/A	N/A	N/A
塩化ナトリウム	3000	N/A	N/A	N/A	N/A
デキストラン硫酸ナトリウム	20600	N/A	N/A	N/A	N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

製品 / 成分の名称	結果	
塩化ナトリウム	ウサギ - 皮膚 - 軽度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間

結論/要約[製品] : 情報なし。

化学名又は一般名	結論/要約
塩化ナトリウム	軽い皮膚への刺激を引き起こす。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

製品 / 成分の名称	結果	
塩化ナトリウム	ウサギ - 眼 - 中程度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間
	ウサギ - 眼 - 中程度の刺激	-

結論/要約[製品] : 情報なし。

化学名又は一般名	結論/要約
塩化ナトリウム	眼の炎症を引き起こすことがある。

11. 有害性情報

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器系

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性

結論/要約[製品] : 情報なし。

発がん性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）

製品 / 成分の名称	結果
ﾃﾄﾗﾒﾁﾙｱﾝﾓﾆｳﾑ=ｸﾛﾘﾄﾞ	特定標的臓器毒性(単回ばく露)（中枢神経系）(経口) - 区分1
デキストラン硫酸ナトリウム	特定標的臓器毒性(単回ばく露)（気道刺激性）- 区分3

特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）

情報なし。

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果		
ﾃﾄﾗﾒﾁﾙｱﾝﾓﾆｳﾑ=ｸﾛﾘﾄﾞ	急性 - LC50 - 淡水	462 mg/l [96 時間]	魚類 - Fathead minnow - Pimephales promelas
塩化ナトリウム	急性 - LC50 - 淡水	1000 mg/l [96 時間]	魚類 - Striped bass - Morone saxatilis - 幼虫
	慢性 - NOEC - 淡水	0.314 g/l [21 日]	ミジンコ類 - Water flea - Daphnia pulex
	慢性 - NOEC - 淡水	100 mg/l [8 週]	魚類 - Eastern mosquitofish - Gambusia holbrooki - 成体
	慢性 - NOEC - 淡水	6 g/l [96 時間]	水生植物 - Duckweed - Lemna minor
	急性 - EC50 - 淡水	402.6 mg/l [48 時間]	ミジンコ類 - Water flea - Daphnia magna
	急性 - EC50 - 淡水	28.85 mg/dm^3 [72 時間]	藻類 - Green algae - Selenastrum capricornutum

結論/要約[製品] : 情報なし。

12. 環境影響情報

残留性・分解性

結論/要約[製品] : 情報なし。

製品 / 成分の名称	水中における半減期	光分解	生分解性
ﾃﾄﾗﾒﾁﾙｱﾝﾓﾆｳﾑ=ｸﾛﾘﾄﾞ	–	–	容易

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	$LogP_{ow}$	BCF	可能性
ﾃﾄﾗﾒﾁﾙｱﾝﾓﾆｳﾑ=ｸﾛﾘﾄﾞ	<-1.6	–	低

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送**: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
指定可燃物	以下を含む物質: 可燃性液体類	非該当	非該当	2 m^3

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
ﾃﾄﾗﾒﾁﾙｱﾝﾓﾆｳﾑ=ｸﾛﾘﾄﾞ	10.96	該当	2-1292 (2025-04)

名称等を通知すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
ﾃﾄﾗﾒﾁﾙｱﾝﾓﾆｳﾑ=ｸﾛﾘﾄﾞ	10.96	該当	2-1292 (2025-04)

15. 適用法令

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則 第594条の2 第1項）

非該当

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
テトラメチルアンモニウム＝ヒドロキシド	優先評価化学物質	17
2，2’，2’’，2’’’ー（エタンー1，2ージイルジニトリロ）四酢酸のナトリウム塩	優先評価化学物質	268

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

インベントリ リスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 未確定。
日本インベントリー(ISHL): 未確定。

米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2025/02/19

前作成日 : 未確認

バージョン : 1

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。（"Marpol" = 海洋汚染）
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
急性毒性（経口）- 区分4	算出方法
皮膚刺激性 - 区分2	算出方法
特定標的臓器毒性(単回ばく露) - 区分1	算出方法
水生環境有害性　長期（慢性）- 区分3	算出方法

参照 : 情報なし。

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシート

Agilent Technologies

Hyb Enhancer

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Hyb Enhancer

部品番号 : 5271-0128

供給者/ 製造者 : 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社

住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号(受付時間) : CHEMTREC®: 0800-300-5842

化学製品の推奨される用途 : 分析試薬。
研究専用です。
0.988 ml (96 反応)

使用上の制限 : 診断用ではありません。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

H351	発がん性 - 区分2
H360	生殖毒性 - 区分1B
H373	特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分2

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H351 - 発がんのおそれの疑い
H360 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H373 - 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (血液)

注意書き

安全対策 : P201 - 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 - 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P280 - 保護手袋, 保護衣及び保護眼鏡又は保護面を着用すること。
P260 - 蒸気を吸入しないこと。

応急措置 : P308 + P313 - ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察又は手当てを受けること。

保管 : P405 - 施錠して保管すること。

廃棄 : P501 - 内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有量(%)	識別子	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
ホルムアミド	≥90	CAS: 75-12-7	2-681	(2)-681

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 医師の診断を受ける。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。 暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 医師の診断を受ける。 衣類は、再着用の前に洗濯する。 靴は再使用前に十分に洗浄する。

眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。 入歯をしている場合ははずす。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。 医師の診断を受ける。 意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

過剰にばく露した場合の徴候症状

吸入した場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
胎児体重の減少
子宮内胎児死亡の増加
骨格の変形

皮膚に付着した場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
胎児体重の減少
子宮内胎児死亡の増加
骨格の変形

飲み込んだ場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
胎児体重の減少
子宮内胎児死亡の増加
骨格の変形

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。

医師に対する特別な注意事項 : 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。 暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害な熱分解生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
二酸化炭素
一酸化炭素
窒素酸化物

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 蒸気や噴霧の吸入を避ける。 十分な換気を行う。 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。 暴露を避けること－使用前に取扱説明書を入手すること。 妊娠中は暴露を避ける。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 眼、皮膚および衣類に触れないようにする。 蒸気やミストを呼吸しない。 摂取してはならない。 当物質の通常の取り扱い中に呼吸器官への有害危険性が存在する場合は、必ず適切な換気装置を使用するか、あるいは適切な呼吸用保護具を着用する。 使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。 容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。 容器を再利用してはならない。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 施錠して保管すること。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、ガス、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。

ばく露限界

なし。

生物学的曝露指数

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

保護具

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。 手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。 あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。 いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。

8. ばく露防止及び保護措置

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 液体
色 : 情報なし。
臭い : 情報なし。
融点／凝固点 : 情報なし。
沸点又は初留点及び沸点範囲 : 情報なし。

可燃性 : 該当しない
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。
引火点 :

化学名又は一般名	密閉式			開放式		
	℃	℉	方法	℃	℉	方法
ホルムアミド	150	302	–	152	305.6	DIN EN ISO 2592

自然発火点 :

化学名又は一般名	℃	℉	方法
ホルムアミド	>500	>932	ASTM D 2155-66

分解温度 : 情報なし。
pH : 情報なし。
粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。
溶解度 :

メディア	結果
水	可溶性

水混和性 : はい。
n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

蒸気圧 :

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
ホルムアミド	0.045	0.006	–	–	–	–

又は相対密度 : 情報なし。
相対ガス密度 : 情報なし。
粒子特性
中央粒径値 : 該当しない
その他のデータ
臭いのしきい値 : 情報なし。
蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	
ホルムアミド	ウサギ - 経皮 - LD50	17 g/kg
	ラット - 経口 - LD50	5570 mg/kg
	ラット - オス - 吸入した場合 - LC50 微塵および噴霧	>21 mg/l [4 時間]

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん／ミスト) (mg/l)
ホルムアミド	5570	17000	N/A	N/A	N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

結論/要約[製品] : 皮膚に炎症を引き起こすことがある。

化学名又は一般名	結論/要約
ホルムアミド	皮膚に炎症を引き起こすことがある。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

結論/要約[製品] : 眼の炎症を引き起こすことがある。

化学名又は一般名	結論/要約
ホルムアミド	眼の炎症を引き起こすことがある。

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器系

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性

結論/要約[製品] : 情報なし。

11. 有害性情報

発がん性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）

情報なし。

特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）

製品 / 成分の名称	結果
ホルムアミド	特定標的臓器毒性（反復ばく露）（血液）（経口）- 区分2

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果		
ホルムアミド	急性 - LC50 - 淡水	6569 mg/l [96 時間]	魚類
	急性 - NOEC - 淡水	4640 mg/l [96 時間]	魚類
	急性 - EC50 - 淡水	>500 mg/l [48 時間]	ミジンコ類
	急性 - NOEC - 淡水	4640 mg/l [72 時間]	藻類
	急性 - EC50 - 淡水	>500 mg/l [72 時間]	藻類

結論/要約[製品] : 情報なし。

残留性・分解性

製品 / 成分の名称	結果		
ホルムアミド	OECD [Ready Biodegradability - DOCダイアウェイテスト]	99% [28 日] - 容易	好気性

結論/要約[製品] : 情報なし。

製品 / 成分の名称	水中における半減期	光分解	生分解性
ホルムアミド	-	-	容易

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	$LogP_{ow}$	BCF	可能性
ホルムアミド	-0.82	-	低

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送**: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
第四類危険物	以下を含む物質: 第三石油類 (水溶性) 以下を含む物質: 第四石油類	III III	火気厳禁 火気厳禁	4000 L 6000 L

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
ホルムアミド	96	該当	547, 2-1960 (2025-04)

名称等を通知すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
ホルムアミド	96	該当	547, 2-1960 (2025-04)

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質 (労働安全衛生規則 第594条の2 第1項)

化学名又は一般名	状況	備考
ホルムアミド	皮膚吸収性有害物質	-

化学物質審査規制法

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

化学名又は一般名	含有量(%)	元素として	状況	管理番号
ホルムアミド	96		第二種	815

インベントリ リスト

15. 適用法令

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
日本インベントリー(ISHL): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2025/02/19

前作成日 : 未確認

バージョン : 1

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。("Marpol" = 海洋汚染)
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
発がん性 - 区分2	算出方法
生殖毒性 - 区分1B	算出方法
特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分2	算出方法

参照 : 情報なし。

◤ **前バージョンから変更された情報を指摘する。**

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシート

Agilent Technologies

2X Amplification Mastermix

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 2X Amplification Mastermix

部品番号 : 5271-0129

供給者/ 製造者 : 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社

住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号(受付時間) : CHEMTREC®: 0800-300-5842

化学製品の推奨される用途 : 分析試薬。
研究専用です。
2.940 ml (96 反応)

使用上の制限 : 診断用ではありません。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

区分に該当しない。

GHS ラベル要素

注意喚起語 : 注意喚起語なし。

危険有害性情報 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

注意書き

安全対策 : 該当しない

応急措置 : 該当しない

保管 : 該当しない

廃棄 : 該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有量(%)	識別子	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
グリセリン	≤10	CAS: 56-81-5	2-242	(2)-242

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害な熱分解生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
二酸化炭素
一酸化炭素

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界

なし。

生物学的曝露指数

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

保護具

8. ばく露防止及び保護措置

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 液体

色 : 情報なし。

臭い : 情報なし。

融点／凝固点 : 情報なし。

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 情報なし。

可燃性 : 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。

引火点 :

化学名又は一般名	密閉式			開放式		
	℃	℉	方法	℃	℉	方法
グリセリン	–	–	–	177	350.6	–

自然発火点 :

化学名又は一般名	℃	℉	方法
グリセリン	370	698	–

分解温度 : 情報なし。

pH : 情報なし。

粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。

溶解度 : 情報なし。

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

蒸気圧 :

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
グリセリン	0.000075	0.00001	–	0.0025	0.00033	–

又は相対密度 : 情報なし。

相対ガス密度 : 情報なし。

粒子特性

中央粒径値 : 該当しない

その他のデータ

臭いのしきい値 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	
グリセリン	ラット - 経口 - LD50	12600 mg/kg

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん／ミスト) (mg/l)
グリセリン	12600	N/A	N/A	N/A	N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

製品 / 成分の名称	結果	
グリセリン	ウサギ - 皮膚 - 軽度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間

結論/要約[製品] : 情報なし。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

製品 / 成分の名称	結果	
グリセリン	ウサギ - 眼 - 軽度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器系

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性

結論/要約[製品] : 情報なし。

11. 有害性情報

発がん性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露)

情報なし。

特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露)

情報なし。

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果		
グリセリン	急性 - LC50 - 淡水	54000 mg/l [96 時間]	魚類 - マス - Oncorhynchus mykiss

結論/要約[製品] : 情報なし。

残留性・分解性

製品 / 成分の名称	結果		
グリセリン	レディ生分解性 - クローズドボトルテスト	93% [30 日]	-

結論/要約[製品] : 情報なし。

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	$LogP_{ow}$	BCF	可能性
グリセリン	-1.76	-	低

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送**: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
第四類危険物	以下を含む物質: 第三石油類 (水溶性)	III	火気厳禁	4000 L

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

該当しない

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質 (労働安全衛生規則 第594条の2 第1項)

非該当

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
α－(ノニルフェニル)－ω－ヒドロキシポリ(オキシエチレン)	優先評価化学物質	86

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

インベントリリスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 未確定。
日本インベントリー(ISHL): 未確定。

米国 : 未確定。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2025/02/19

前作成日 : 未確認

バージョン : 1

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。(″Marpol″ = 海洋汚染)
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

16. その他の情報

分類	由来
区分に該当しない。	

参照 : 情報なし。

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシート

Library Binding Beads

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Library Binding Beads

部品番号 : 5271-0135

供給者/ 製造者 : 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社

住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号(受付時間) : CHEMTREC®: 0800-300-5842

化学製品の推奨される用途 : 分析試薬。
研究専用です。
10.083 ml (96 反応)

使用上の制限 : 情報なし。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

区分に該当しない。

GHS ラベル要素

注意喚起語 : 注意喚起語なし。

危険有害性情報 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

注意書き

安全対策 : 該当しない

応急措置 : 該当しない

保管 : 該当しない

廃棄 : 該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有量(%)	識別子	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
塩化ナトリウム	≥10 - ≤20	CAS: 7647-14-5	1-236	(1)-236

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害な熱分解生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある:
二酸化炭素
一酸化炭素
ハロゲン化合物
金属酸化物

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界

なし。

生物学的曝露指数

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

8. ばく露防止及び保護措置

保護具

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 液体

色 : 情報なし。

臭い : 情報なし。

融点／凝固点 : 情報なし。

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 情報なし。

可燃性 : 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。

引火点 : 情報なし。

自然発火点 : 情報なし。

分解温度 : 情報なし。

pH : 8

粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
水	可溶性

水混和性 : はい。

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

蒸気圧 :

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
水	17.5	2.3	–	92.258	12.3	–

又は相対密度 : 情報なし。

相対ガス密度 : 情報なし。

粒子特性

中央粒径値 : 該当しない

その他のデータ

臭いのしきい値 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	
塩化ナトリウム	ラット - 経口 - LD50 ラット - オス - 吸入した場合 - LC50 微塵および噴霧	3000 mg/kg >42 mg/l [1 時間]

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (気体) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (粉じん／ミスト) (mg/l)
Library Binding Beads 塩化ナトリウム	17855.8 3000	N/A N/A	N/A N/A	N/A N/A	N/A N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

製品 / 成分の名称	結果	
塩化ナトリウム	ウサギ - 皮膚 - 軽度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間

結論/要約[製品] : 情報なし。

化学名又は一般名	結論/要約
塩化ナトリウム	軽い皮膚への刺激を引き起こす。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

製品 / 成分の名称	結果	
塩化ナトリウム	ウサギ - 眼 - 中程度の刺激	処理/暴露の継続時間: 24 時間
	ウサギ - 眼 - 中程度の刺激	-

結論/要約[製品] : 情報なし。

化学名又は一般名	結論/要約
塩化ナトリウム	眼の炎症を引き起こすことがある。

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 情報なし。

11. 有害性情報

呼吸器系

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性

結論/要約[製品] : 情報なし。

発がん性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）

情報なし。

特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）

情報なし。

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果		
塩化ナトリウム	急性 - LC50 - 淡水	1000 mg/l [96 時間]	魚類 - Striped bass - Morone saxatilis - 幼虫
	慢性 - NOEC - 淡水	0.314 g/l [21 日]	ミジンコ類 - Water flea - Daphnia pulex
	慢性 - NOEC - 淡水	100 mg/l [8 週]	魚類 - Eastern mosquitofish - Gambusia holbrooki - 成体
	慢性 - NOEC - 淡水	6 g/l [96 時間]	水生植物 - Duckweed - Lemna minor
	急性 - EC50 - 淡水	402.6 mg/l [48 時間]	ミジンコ類 - Water flea - Daphnia magna
	急性 - EC50 - 淡水	28.85 mg/dm^3 [72 時間]	藻類 - Green algae - Selenastrum capricornutum

結論/要約[製品] : 情報なし。

残留性・分解性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生体蓄積性

情報なし。

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
第四類危険物	以下を含む物質: 第四石油類	III	火気厳禁	6000 L

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

該当しない

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則 第594条の2 第1項）

非該当

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
2，2'，2''，2'''ー（エタンー1，2ージイルジニトリロ）四酢酸のナトリウム塩	優先評価化学物質	268

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

インベントリ リスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 未確定。
日本インベントリー(ISHL): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2025/02/19
前作成日 : 未確認
バージョン : 1

16. その他の情報

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。(″Marpol″ = 海洋汚染)
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

参照 : 情報なし。

◤ **前バージョンから変更された情報を指摘する。**

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシート

Capture Beads

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	Capture Beads
部品番号	:	5271-0136
供給者/ 製造者	:	会社名 アジレント・テクノロジー株式会社 住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1 電話番号 +81-42-660-3111
緊急連絡電話番号(受付時間)	:	CHEMTREC®: 0800-300-5842
化学製品の推奨される用途	:	分析試薬。 研究専用です。 0.944 ml (96 反応)
使用上の制限	:	診断用ではありません。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

区分に該当しない。

GHS ラベル要素

注意喚起語	:	注意喚起語なし。
危険有害性情報	:	重大な作用や危険有害性は知られていない。
注意書き		
安全対策	:	該当しない
応急措置	:	該当しない
保管	:	該当しない
廃棄	:	該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別	:	混合物

4. 応急措置

吸入した場合	:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	:	多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	:	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	:	水で口を洗浄する。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	:	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
医師に対する特別な注意事項	:	症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害な熱分解生成物 : 特にデータは無い。

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界

なし。

生物学的曝露指数

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

保護具

8. ばく露防止及び保護措置

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 液体

色 : 情報なし。

臭い : 情報なし。

融点／凝固点 : 0℃ (32℉)

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 100℃ (212℉)

可燃性 : 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。

引火点 : 情報なし。

自然発火点 : 情報なし。

分解温度 : 情報なし。

pH : 情報なし。

粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
水	可溶性

水混和性 : はい。

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

蒸気圧 :

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
水	17.5	2.3	–	92.258	12.3	–

又は相対密度 : 情報なし。

相対ガス密度 : 情報なし。

粒子特性

中央粒径値 : 該当しない

その他のデータ

臭いのしきい値 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の推定

N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

結論/要約[製品] : 情報なし。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器系

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性

結論/要約[製品] : 情報なし。

発がん性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）

情報なし。

11. 有害性情報

特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）

情報なし。

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

残留性・分解性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生体蓄積性

情報なし。

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
第五類危険物	以下を含む物質：金属のアジ化物	II	火気厳禁 衝撃注意	100 kg

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

該当しない

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則 第594条の2 第1項）

非該当

15. 適用法令

化学物質審査規制法

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

インベントリ リスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 未確定。
日本インベントリー(ISHL): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2025/02/19

前作成日 : 未確認

バージョン : 1

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。(″Marpol″ = 海洋汚染)
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

参照 : 情報なし。

◤ **前バージョンから変更された情報を指摘する。**

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシート

Agilent Technologies

Avida Index Primer Pairs 97-192 for ILM

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	Avida Index Primer Pairs 97-192 for ILM
部品番号	:	5274-0080
供給者/ 製造者	:	会社名 アジレント・テクノロジー株式会社 住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1 電話番号 +81-42-660-3111
緊急連絡電話番号(受付時間)	:	CHEMTREC®: 0800-300-5842
化学製品の推奨される用途	:	分析試薬。 研究専用です。 0.005 ml
使用上の制限	:	診断用ではありません。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

区分に該当しない。

GHS ラベル要素

注意喚起語	:	注意喚起語なし。
危険有害性情報	:	重大な作用や危険有害性は知られていない。
注意書き		
安全対策	:	該当しない
応急措置	:	該当しない
保管	:	該当しない
廃棄	:	該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質 混合物の区別	:	混合物

4. 応急措置

吸入した場合	:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	:	多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	:	すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	:	水で口を洗浄する。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	:	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
医師に対する特別な注意事項	:	症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。

火災時の特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

有害な熱分解生成物 : 特にデータは無い。

特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 適切な個人保護装置を着用する。

緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項 : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。

衛生対策 : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

保管

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

ばく露限界

なし。

生物学的曝露指数

曝露指数は不明です。

衛生対策 : 該当しない。

保護具

8. ばく露防止及び保護措置

呼吸用保護具 : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

眼、顔面の保護具 : リスクアセスメントの結果、必要とされた場合は、液体飛まつ、ミスト、ガスあるいは粉じんへのばく露をさけるため、承認基準に適合する安全眼鏡を着用すること。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。
この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

物理状態 : 液体

色 : 情報なし。

臭い : 情報なし。

融点／凝固点 : 0℃ (32℉)

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 100℃ (212℉)

可燃性 : 該当しない

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 情報なし。

引火点 : 情報なし。

自然発火点 : 情報なし。

分解温度 : 情報なし。

pH : 8

粘度 : 動的 (室温): 情報なし。
動粘性率 (室温): 情報なし。
動粘性率 (40℃ (104℉)): 情報なし。

溶解度 :

メディア	結果
水	可溶性

水混和性 : はい。

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

蒸気圧 :

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
水	17.5	2.3	-	92.258	12.3	-

又は相対密度 : 情報なし。

相対ガス密度 : 情報なし。

粒子特性

中央粒径値 : 該当しない

その他のデータ

臭いのしきい値 : 情報なし。

蒸発速度 : 情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。

混触危険物質 : 酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。

危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の推定

N/A

結論/要約[製品] : 情報なし。

皮膚腐食性／刺激性

結論/要約[製品] : 情報なし。

深刻な眼の損傷/眼の炎症

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器の腐食/刺激

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚

結論/要約[製品] : 情報なし。

呼吸器系

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖細胞の変異原性

結論/要約[製品] : 情報なし。

発がん性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生殖毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）

情報なし。

11. 有害性情報

特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）

情報なし。

誤えん有害性

情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

結論/要約[製品] : 情報なし。

残留性・分解性

結論/要約[製品] : 情報なし。

生体蓄積性

情報なし。

土壌中の移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA : 規定なし。

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

15. 適用法令

消防法

非該当

消防活動阻害物質 : 非該当

労働安全衛生法

該当しない

皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則 第594条の2 第1項）

非該当

15. 適用法令

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
2，2'，2''，2'''ー(エタンー1，2ージイルジニトリロ)四酢酸のナトリウム塩	優先評価化学物質	268

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

インベントリリスト

日本 : **日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)**: 未確定。
日本インベントリー(ISHL): 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

米国 : すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2025/02/19

前作成日 : 未確認

バージョン : 1

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA =国際航空運送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
IMO = 国際海事機関
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。(″Marpol″ = 海洋汚染)
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
区分に該当しない。	

参照 : 情報なし。

◤ **前バージョンから変更された情報を指摘する。**

注意事項

使用者への注意: このデーターシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。